

処刑前夜

論説委員 田中申明

日々小論



左の記事を読んで下の問いに答えましょう。

1 空欄A Bに入る語句を、次の中からそれぞれ1つ選んで、記号で書きましょう。

A ㊶ときめき ①むなしさ ㊷明るさ ㊸静けさ

B ㊶受容 ①拒絶 ㊷無視 ㊸恐怖

A		B	
---	--	---	--

2 傍線部①「その日」とはいつのことか書きましょう。

3 傍線部②で、大阪地裁が退けた理由の一つを、本文中から4文字で抜き出して書きましょう。

--	--	--	--

4 死刑の執行を当日に知らせる今の制度をどう思いますか。あなたの考えを書きましょう。

歌集「遺愛集」を久々にひもとく。元死刑囚の島秋人（1934～67年）が拘留所で詠んだ640首と書簡を収める。刑執行後に刊行され、多くの読者の心を温かいAで満たした。歌風とは裏腹に前半生はすさんでいた。貧苦にあえぎ、学校では「能力が低い」とさげすまれた。母の死後、家出して非行を重ね、夫婦を殺傷し金品を奪った事件で死刑判決を受けた。控訴審を待つ間、絵が好きな秋人は中学時代の図画の先生に手紙を書く。「子どもの描いた作品を送ってほしい」。先生は自分をほめてくれた数少ない存在だった。返信に同封されていた先生の妻の短歌に感動して詠み始め、才能を開花させた。遺愛集には、処刑前夜の作品も収録されている。死をBした言葉に心を打たれる。

〈この澄めるころ在るとは識らず来て刑死の明日に迫る夜

① 温し
その日は忙しかった。養子に迎えてくれた母らと面会し、出版の手配をし、世話になった人らへの感謝をつづった。翌朝には被害者に謝罪の手紙を書き、刑場へ向かった。「私は詫びても詫び足りず、ひたすらに悔を深めるのみでございませぬ。死によっていくらかでもお心の癒やされます事を、秋人のような最後の一日を、今の死刑囚が送ることはできない。刑の執行は当日に通知する決まりになっているからだ。当日の通知では不服申し立てができず違法だ。②死刑囚2人が国を相手に訴訟を起こしたが、大阪地裁に退けられた。自殺防止は必須だ。「被害者は突然命を奪われたのだから」この国民感情も理解できる。しかし、秋人のような境地を示す死刑囚には、せめて前日に通知できないだろうか。

NIEワークシートのこたえ（2024年4月19日公開）

◆ワークシート「処刑前夜(国語)」
2024.4.19付 朝刊 オピニオン 解答例

1 A ㊦ B ㊦

2 処刑前日(死刑前日 など同意可)

3 自殺防止

4 自由記述